



2019年6月28日

各位

会社名 株式会社ジャパン・ティッシュ・エンジニアリング  
 代表者氏名 代表取締役 社長執行役員 秋山 雅孝  
 (コード番号: 7774 JQ)  
 本店所在地 愛知県蒲郡市三谷北通6丁目209番地の1  
 問合せ先 取締役 常務執行役員 原 俊之  
 電話番号 0533-66-2020 (代表)

### 支配株主等に関する事項について

当社の支配株主等に関する事項は、下記のとおりになりますので、お知らせいたします。

記

#### 1. 親会社、支配株主（親会社を除く。）又はその他の関係会社の商号等

(2019年3月31日現在)

名称	属性	議決権所有割合 (%)			発行する株券が上場されている金融商品取引所等
		直接所有分	合算対象分	計	
富士フィルム株式会社	親会社	46.05	4.08	50.13	-
富士フィルムホールディングス株式会社	親会社	-	50.13	50.13	東京証券取引所

#### 2. 親会社等のうち、上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称及びその理由

上場会社に与える影響が最も大きいと認められる会社の商号又は名称	理由
富士フィルムホールディングス株式会社	当社の議決権の46.05%を直接所有する富士フィルム株式会社は、直接・間接所有合わせて当社の議決権を50.13%所有する親会社です。同社は富士フィルムホールディングス株式会社の100%子会社であることから、当社に対して一番の影響を持つのは富士フィルムホールディングス株式会社と考えられます。

#### 3. 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付けその他の上場会社と親会社等との関係

##### (1) 親会社等の企業グループにおける上場会社の位置付け、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本関係

富士フィルム株式会社（以下、「富士フィルム」という。）は、直接保有・間接保有あわせて当社株式の50.13%を保有する親会社であり、3名が当社取締役に就任し、当社取締役1名が富士フィルムの役職を兼務しております。また、当社の研究開発及び経営管理部門の強化を目的として親会社の企業グループから7名を出向者として受け入れております。

当社株式の4.08%を保有する大株主である富山化学工業株式会社（現 富士フィルム富山化学株式会社）は富士フィルムホールディングス株式会社の子会社でしたが、2018年9月

30日付で富士フィルムの100%子会社となった結果、富士フィルムは直接保有・間接保有あわせて当社株式の50.13%を保有し、当社の親会社に該当することとなりました。また、富士フィルム株式会社は富士フィルムホールディングス株式会社の100%子会社であり、富士フィルムホールディングス株式会社も当社の親会社に該当しております。

更に、富士フィルムと当社は、両社が現在及び将来保有する製品・技術を活用した再生医療分野での業務提携を行っており、当社は富士フィルムからの受託開発を行っております。

( 役員の兼務状況 )

( 2019年6月28日現在 )

役職	氏名	親会社等又はそのグループ企業での役職	就任理由
取締役	畠 賢 一 郎	富士フィルム株式会社 R&D 統括本部 バイオサイエンス&エンジニアリング研究所 副所長	当社における経験・実績を、富士フィルムグループの事業運営や研究に反映していただくため
取締役	秋 山 雅 孝	富士フィルム株式会社 再生医療事業部長	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため
取締役	伴 寿 一	富士フィルム株式会社 執行役員 富士フィルム富山化学株式会社 取締役	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため
取締役	平 尾 和 義	富士フィルム株式会社 再生医療事業部 次長	富士フィルムにおける経験・実績を、当社の経営に反映していただくため

( 注 ) 当社の取締役7名、監査役3名のうち、親会社等との兼任役員は当該4名です。

( 出向者の受入れ状況 )

( 2019年3月31日現在 )

部署名	人数	出向元の親会社等 又はそのグループ企業名	出向者受入れ理由
研究開発部	1名	富士フィルム株式会社	研究開発部門強化のため 当社から依頼
臨床開発部	4名	富士フィルム富山化学株式会社	臨床開発部門強化のため 当社から依頼
経営企画部	1名	富士フィルム株式会社	経営企画部門強化のため 当社から依頼
総務人事部	1名	富士フィルム富山化学株式会社	総務人事部門強化のため 当社から依頼

( 注 ) 2019年3月末現在の当社の従業員数は184名です。

( 2 ) 親会社等の企業グループに属することによる事業上の制約、リスク及びメリット、親会社等やそのグループ企業との取引関係や人的・資本的關係などの面から受ける経営・事業活動への影響等

富士フィルムは、「ヘルスケア事業」を重要な事業の一つとして位置付けており、医療用

デジタルX線画像診断システム、内視鏡システム、高機能性材料などを中心に実績と知見を有しております。2008年には当社株主の富士化学工業株式会社（現 富士フィルム富山化学株式会社）をグループ会社化し、医薬品事業分野に進出するとともに積極的に設備投資並びに研究開発を進めております。

当社は、富士フィルムによる資本参画のみならず、研究開発及び事業展開においても強固な連携体制を構築することにより、両社の間において事業シナジーを發揮し、当社が企業理念として掲げる「再生医療の産業化」に向けて着実に前進していくことを目的として、富士フィルムと「資本提携契約書」及び「業務提携に関する契約書」を締結しております。更に、これまで行ってまいりました業務提携を發展させ、富士フィルムが開発した材料を活用した再生医療製品の研究開発業務委託契約を締結しております。

なお、当社は富士フィルムグループの一員として、富士フィルムと緊密な協力関係を保ちながら事業展開する方針であります。富士フィルムとの間には役割の棲分けがなされております。また、取締役の就任状況は、グループとして一体性のある経営を行うために親会社と十分に意思疎通を図る必要がありますが、当社の適切な経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

#### 4. 支配株主等との取引に関する事項(自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

種類	会社等の名称又は氏名	所在地	資本金又は出資金(千円)	事業の内容又は職業	議決権等の所有(被所有)割合(%)	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額(千円)	科目	期末残高(千円)
親会社	富士フィルム株式会社	東京都港区	40,000,000	イメージングソリューション、ヘルスケア&マテリアルズソリューションの開発、製造、販売、サービス	(被所有) 直接 46.05 間接 4.08	当社への開発委託業務提携役員の兼任	受託開発収入(注)2(1)	438,758	売掛金	147,945
							出向者給与の受取(注)2(2)	28,429	立替金	3,723
									未収入金	586
							被出向者給与の支払(注)2(3)	20,513	未払金	1,752
							固定資産の譲受(注)2(4)	6,652	-	-
セミナー共催費用(注)2(5)	1,599	-	-							

(注) 1 上記金額のうち、取引金額には消費税等が含まれておらず、期末残高には消費税等が含まれております。

#### 2 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (1) 富士フィルム株式会社からの受託開発収入は契約をもとに決定しております。
- (2) 富士フィルム株式会社への出向者に対する給与の受取は契約をもとに決定しております。
- (3) 富士フィルム株式会社からの出向者に対する給与の支払は契約をもとに決定しております。
- (4) 富士フィルム株式会社からの固定資産の譲受は契約をもとに決定しております。
- (5) 富士フィルム株式会社へのセミナー共催費用は、富士フィルム株式会社負担分のうち、当社使用分の実費相当額であります。

#### 5. 支配株主との取引を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

当社は、富士フィルムグループと協力関係を保ちながら事業展開する方針ですが、一方で独自の経営方針及び経営戦略に基づいて独立した活動を展開しており、一定の独立性が確保されているものと考えています。

富士フィルム株式会社及びグループ企業との取引等を行う際は、少数株主の利益を害することのないよう、法令や社内規定に基づき当該取引の必要性や一般的な取引条件と同等であること等を確認した上で、合理的に判断しています。

以上